

国土変遷アーカイブ利用検討作業（第2年次）

実施期間 平成16年度～平成17年度
地理情報部地図情報課 飯田 洋 増山 収

1. はじめに

国土地理院で保有している明治期以来の旧版地図及び空中写真等の膨大な資料を、いかに有効活用していくかは、過去から現在までの変遷を知り、美しい国作りを行っていくという観点から鑑みても非常に重要である。すなわち、データの活用方法も併せて提供していくことが必要と考えられる。

そこで平成16年度作業に引き続いて学識経験者等からなる国土変遷アーカイブ利用検討委員会を設置し、データ活用方法についての具体例をご提案頂き、それらをWebページとして取りまとめた。

2. 研究内容

平成16年度作業で設置した国土変遷アーカイブ利用検討委員会を再度設置した。構成委員は昨年度と同様である。委員を表-1に示す。なお昨年度と同様に、アーカイブ提供側を代表して、国土地理院からも1名加わることにした。

表-1 国土変遷アーカイブ利用検討委員会委員

(五十音順)

氏名	所属	専門分野
稲葉 和雄	国土地理院地理情報部長	(アーカイブ提供側)
太田 弘	慶應義塾普通部	教育
久保 純子	早稲田大学教育学部助教授	自然地理学・地形学
栗田 好明	日本国際地図学会広報委員会委員長	地図愛好家
西山 由美	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助手	G I S
布施 孝志	東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻助手	土木・都市工学

委員会においては、アーカイブ提供に関する課題の検討を行うと同時に具体的利用例を提示頂き、それらをWebページに取りまとめた。

3. 得られた成果

3.1 アーカイブ提供に関する課題の検討

委員会での検討の結果、1) 提供体制・システム、2) 検索、3) 提供時の付加情報、4) 利用促進方針の4点について課題が抽出された。以下に個別に詳述する。

1) 提供体制・システム

- ・ハードコピー（出力図）を簡便かつ廉価に提供できる体制の構築
- ・旧版地図に対比した形での最新地図の提供体制の確立

2) 検索

- ・住所やランドマーク等を用いた検索

- ・昔の地名をもとに現在の地名を調べるといった逆の検索
- ・時間軸を入れた四次元検索

3) 提供時の付加情報

- ・地図四隅の経緯度情報
- ・西暦表示
- ・空中写真の場合には撮影範囲

4) 利用促進方策

- ・アーカイブデータの廉価な提供、またデータを扱える廉価なソフトウェアの提供
- ・旧版地図の幾何的ひずみの事前補正

3. 2 アーカイブ利用例について

各委員にアーカイブの具体的な利用例を作成頂いた。以下に列記する。また Web ページの中から布施先生の例を図-1に掲げる。

太田先生：街の今、むかし

久保先生：地図を読んでみよう・持って歩こう

栗田先生：地形図に見る羽田の変容

西山先生：歴史たどり体験

布施先生：都市変貌の概略を捉える

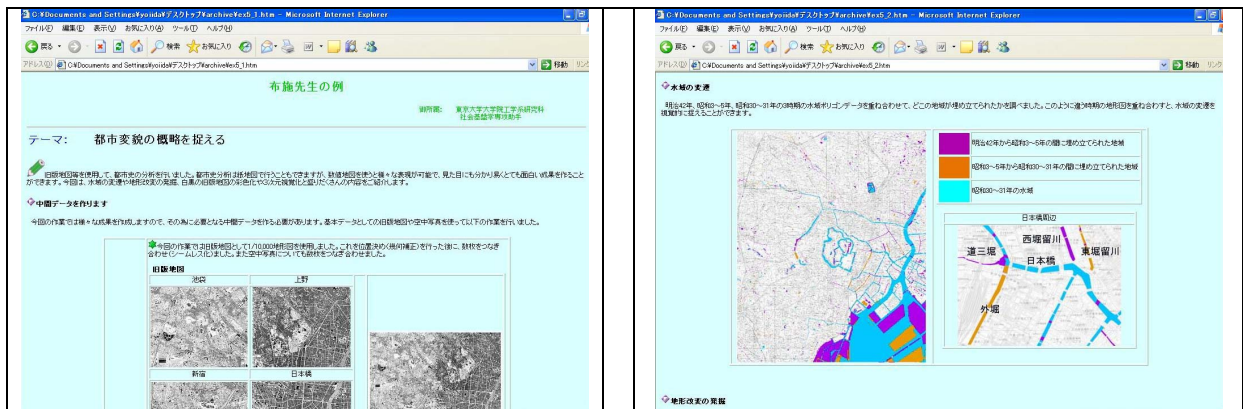


図-1 アーカイブ利用例 Web ページの例（布施先生の例）

4. 結論

旧版地図及び空中写真等の国土変遷アーカイブを、どのように提供し、具体的にどのように利用するかを検討するために、国土変遷アーカイブ利用検討委員会を設置し、委員会を2回開催した。

委員会においては、アーカイブ提供に関する課題の検討を行うと同時にアーカイブ利用例についての具体例をお示し頂き、利用例については Web ページとして取りまとめた。

来年度公開予定である国土変遷アーカイブのページにおいて、上記で作成した利用例を提示し、国民にたいして有効な活用方法の事例として紹介していく方針である。